

は じ め に

平成 30 年度は、「滋賀県基本構想」および「滋賀県行政経営方針」の計画期間の最終年度に当たり、これらの総仕上げに向けて、具体的な成果につなげていく重要な年度となります。そのため、基本構想の基本理念に掲げる「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現に向け、「新しい豊かさ」を具現化すべく、また同時に、持続可能な財政基盤の確立に向け、平成 29 年 6 月に公表した「今後の財政運営の基本的な考え方」に基づく取り組みの初年度として、中長期的な観点から財政健全化の推進を図ることを基本に、予算編成に取り組みました。

施策構築に当たっては、「だれもが健康で、活躍する社会づくり」、「若者の希望を叶える社会づくり」、「新たな価値の創造・発信」、「琵琶湖や山と人々の暮らしとのつながりの再生」の 4 つの視点および SDG s の視点に重点を置くとともに、とりわけ、「健康で拓く滋賀の未来」および「データ活用をはじめとした ICT 戦略の推進」については、部局横断的な課題として取り組みを進めることとしました。

こうした結果、平成 30 年度の当初予算の規模は、2 年ぶりに前年度当初予算を上回りました。

また、財政の健全性を示すプライマリーバランスは、5 年連続して黒字を維持したほか、県債全体に占める臨時財政対策債を除く実質的な県債残高の割合についても減少傾向を維持しているところです。

県の予算は、県民の皆さんの暮らしに密接にかかわるものであり、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを広く知っていただく必要があることから、財政事情として年 2 回（5 月と 11 月）、定期的に公表しています。

今回は平成 30 年度予算の概要、平成 29 年度下半期における予算の補正状況やその執行状況、そして公営企業の業務状況などについてご報告するとともに、経年変化で見た県財政の状況や各種財政指標の状況などをお知らせします。

目 次

I 滋賀県財政の動向

1 経年変化で見る滋賀県財政の状況	1
2 財政指標から見た滋賀県財政	10
3 財政健全化に向けた取り組み	12

II 一般会計および特別会計の状況

1 平成 30 年度予算の概要	16
(1) 当初予算編成の背景	16
(2) 当初予算編成の基本方針	17
(3) 当初予算の規模等	18
(4) 当初予算のポイント	20
(5) 一般会計当初予算の内容	26
(6) 特別会計当初予算の状況	32
2 平成 29 年度下半期の財政状況	33

III 公営企業の業務状況

1 モーターボート競走事業の業務状況	37
2 病院事業の業務状況	41
3 工業用水道事業の業務状況	45
4 水道用水供給事業の業務状況	49

IV 健全化判断比率および資金不足比率の概要

1 健全化判断比率および資金不足比率の概要	54
-----------------------	----

付 表	57
-----	----
